

主な政策／実績

無所属

久居高校から自習時間を無くした「伝説の教務主任」。「自習」という語句が消滅、大幅に授業時間を増やし、落ち着いた現在の久居高校を築きました。

高等学校の教育年限は全日制高校で今のところ3年間ですが、これを2年間に短縮することをご提案します。この施策を実施することによって、学校の規模も縮小されるので、県立高校の運営に必要な経費が抑えられます。その結果として、皆さまから徴収している地方税の大幅な減額をお約束することが可能となります。また、従来の高校3年生となる1年間を個々の生徒の進路に応じて充実した過ごし方が実現します。大学進学を目指す人は予備校に通い、就職を目指す人は自動車学校に通う、自分探しの長い旅に出てもよいと思います。このことにより、予備校と自動車学校と旅行会社の収益も上がりますので、この3業種からは特別な税を徴収し、これを高校教育の充実に当てればウィンウィンの関係が実現されます。

「働くより、幸せの方程式を思い出せー」
まじめが一番、まともが一番

主な政策／実績

無所属

求められる人材の育成を目指す、
社会実践型教育への改革

現代の社会は、知識を持った人材ではなく、知識を使うことができる人材を求めています。知識や能力が優れていることよりも、それを発揮できることが重要とされるようになりま

た。社会で生活していく上で必要な力を、2年間の高校教育で養うことができれば、残りの1年はその実践に費やすことができます。インターンシップのような就業体験、ボランティアによる社会奉仕活動、大学や専門学校などの上級学校での体験講義、地域の活性化をはかるための連携事業などは、授業では感じられない幸福感を与え、心を豊かにしてくれるでしょう。自分の将来と向き合い、スムーズに社会に進む機会をつくること

が、これからの教育には必要です。「暗い不平を言うよりも、進んで明かりをつけましょう。」座って指示を待つのではなく、自ら行動することで、自分の将来を切り開くのです。黙ってやるだけ！圧倒的な仕事量！

趣味野球／大好物熱いご飯（一食三合はいけます）

主な政策／実績

無所属

高校教育はやっぱり、三年！

- 一、四割減算
- 一、食塩水の濃度の計算

このことをマスターするまで、高校生としての命題！

点滴の濃度を間違える看護師さん、考えるだけでぞっとしますよね。やっぱり、高校生活3年いるね。大人として生きていくための、基礎の基礎を学びたいね。みんな、あつて何年生まると思うの。10年は生きるでしょう？そりゃなに、焦ってどうするの？人生失敗の連続、試行錯誤して、英語では、トライ＆エラーって言うんだって。うしかないよー「今でしょ。」

三年間って、たった千日だよ。あつていつの間だったよ。夢の中に生きたからかな。でも、尊敬だよ。高校生のまっすぐな生き方。親と衝突、友だちと喧嘩。でも、見るよ。柳の枝がたわんで、また、風に揺るよ。」

趣味：バレーボール（今年の夏の津々のインターハイを成功させるため、半年間学校を離れて汗を流しました。）

「涙を流すのは、コートより。」

わたっぴ、っごうおごっぴー